

## 令和6年度 みどりの保育園 園外学習について

令和6年6月20日(木)に当支署管内の請負事業体である(株)山下組(以下、山下組という。)のグループ企業である(株)グリーンライフみどりの保育園の園外学習が遠野市附馬牛町上附馬牛第二国有林内で行われました。

晴天の下、そら組(5歳児)の園児18名と保護者25名が参加し、同園の職員・山下組の職員を含め、総勢約70名が現場見学を行いました。

本園外学習の目的は、森林林業の現場を見学することで、森林の大切さについて学びきっかけをつくり、改めて子どもたちに森林への関心を高めてもらうことです。

当支署長からは、森林の役割や資源の循環利用、森林の適切な管理について、パネルを用いて説明しました。

山下組によるチェーンソーでの伐倒実演では、園児たちは真剣な眼差しで立木を見つめ、木が倒れると、地響きとともに歓声があがりました。

また、高性能林業機械であるザウルスロボによる伐倒木2本の枝払い・造材にも興味津々で、力持ちの重機に驚いた様子でした。

その後の質問タイムでは、「なぜ木が生えているの?」「なぜ(伐倒した作業員は)オレンジの服をきているの?」「どうしてチェーンソーで切るの?」「どうして木を切るの?」「切ったあとの木はどうするの?」など、子ども目線ならではの素直な質問が多く、私達も考えるきっかけとなりました。

今回の園外学習を通し、実際に木の伐採作業を見て、森林の適切な管理の必要性や木材の利用方法等を学び、森林への関心を高めるきっかけになれば良いと思います。

岩手南部森林管理署遠野支署  
業務グループ:本木



伐倒実演を見守る園児たち



伐倒実演の様子



質問タイムの様子